

消防だより

令和6年(2024年)
5月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 2件
救急 : 550件
救助 : 5件

令和6年度全国統一防火標語 「守りたい 未来があるから 火の用心」

台風に備えましょう

毎年、各地で台風による被害が発生しています。台風による被害を少しでも軽減するために、日頃から備えておきましょう。

●事前の対策

- ・ベランダの排水溝を掃除する。
- ・風で飛ばされる可能性のあるものは、屋内に取り込む。
- ・窓からの浸水を防ぐため、窓枠に新聞紙や雑巾を詰める。
- ・停電や断水が発生する可能性があるため、携帯電話を充電し、飲料水を準備しておく。
- ・事前に食料の買い出しなどを行い、カセットこんろなどの熱源を準備しておく。
- ・天気予報などで、最新の台風情報を確認し、事前準備を確実にを行い、被害を最小限に抑えましょう。

おもちゃ花火を 安全に楽しむために

夏の風物詩ともいえる「おもちゃ花火」は、レジャー先や各家庭などさまざまな場所で楽しめる身近な物です。しかし、「おもちゃ花火」といつても火薬を原料としているため、使い方を誤れば非常に危険です。誤った使用による火災や負傷事故を起こさないためにもルールを守り楽しい夏の思い出にしましょう。

●おもちゃ花火の使い方

- ・花火に書いてある遊び方をよく読み、必ず守る。
- ・花火を人に向けたり、燃えやすい物の近くで遊ばない。
- ・たくさんのお花火に一度に火を付けない。
- ・事前に水バケツを用意し、終わった後は必ず消火する。
- ・花火をするときは、子どもだけで遊ばせない。

水難事故に注意

夏は多くの人が水辺のレジャーを楽しむ季節です。水辺でのトラブルは重大な事故につながる恐れがあります。

●遊泳するときの注意点

- ・水流が速い場所や深い場所は避ける。
- ・体調が優れないときや飲酒時は泳がない。
- ・保護者は子どもから目を離さない。また、子どもだけで水遊びはさせない。
- こんなときはすぐ避難
- ・注意報や警報が出たとき。
- ・雷が聞こえたとき。
- ・水かさが増え、川の水が濁ったり、上流から流木や落ち葉が流れてきたとき。

人が溺れているのを見たときは、絶対に慌てて飛び込まないでください。助けようとした人が溺れて亡くなるケースが後を絶ちません。訓練を受けていない人が溺れている人を助けるのは非常に困難です。すぐに周りの人に伝え、119番通報し、浮き輪などの浮力のあるものを投げ入れて救助を待ちましょう。

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎073-426-1199 (24時間対応)
- 子ども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎#8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

